

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立松ヶ江北小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	松ヶ江北小学校 第5学年 1クラス13名 第6学年 1クラス16名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（「二條実穂選手講演会」）</p> <p>③ その他（校内パラスポーツ大会）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	パラリンピックや障害者スポーツを調べたり、体験をしたりする活動を通して、パラスポーツの楽しさを実感するとともに障害をもった方たちと共生する社会について考える。また、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。
5 取組内容	<p>○ パラリンピックについて調べ、どのような競技・歴史があるのか、パラスポーツが行われている意義等について考えを深める。（5・6年）</p> <p>○ 二條実穂選手から話を聞き、競技用車いすの使用体験やボッチャ体験学習を行う。（5・6年）</p> <p>○ 障害者スポーツセンターの方を通じて、様々なパラスポーツに出会わせ、体験をさせることでパラスポーツの意義について考えをもたせる。（5年）</p> <p>○ 学習したことをふり返り、誰もが気持ちよく生きるために必要なことは何かを考えさせる。また、学んだことを生かし、学校全体でもパラスポーツの関心を高めるために「校内パラスポーツ大会」を開催する。（5・6年）</p>
6 主な成果	○ 車いすテニスの選手の話を知ったり、一緒に活動したりすることで、プロの選手の技術を実感するだけでなく、選手の生き方や考え方にふれることができ、キャリア教育的な部分も学習の中に組み込むことができた。また、今の自分にできることについて深く考える児童の様子が見られた。



<児童の学習の振り返りより>

- 5年生の時に「パラリンピック」について調べていたけれど少ししか知らなかった。二条選手のお話を聞いて理解できることが増えて嬉しかったです。
- パラスポーツやパラリンピックの深い意味がわかって、自分のためになったと思います。
- 私だったら事故のショックで、すぐには立ち直れないと思います。二条選手はメンタルが強いなあと思いました。
- 車いす生活になっても、テニスをやるという勇気がすごいと思った。建築は男性がすることだと思っていたから、以前はその仕事もしていたので、すごい人だと思った。

○ 事業を活用し、パラスポーツにかかわる方との交流やパラスポーツ体験を位置づけたことで、子どもにとって身近にあるものだと考え、学習を意欲的に続けることができた。

○ 障害者スポーツセンター(アレアス)の方と連携することで、交流できる方を紹介していただいたり、パラスポーツを体験できる場を設定したりすることができた。



○ 「障害者スポーツ」を学習材にしたことで、障害に対する理解を深めることができた。



7実践において工夫した点  
(事業の特色)

○ 本校は、毎年、5年生が車いすバスケットボールに取り組むカリキュラムが組まれている。そのため、パラスポーツは子どもにとって身近になっており関心は高い。  
今年度は、車いすバスケットボール大会の参加ができなかつた。

	<p>ったため、パラリンピックをきっかけに、障害者スポーツセンターとの連携を取りながら、色々なパラスポーツ体験を行った。</p>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他教科との授業時間数の調整。</li> <li>○ ゲストティーチャーや用具等の確保。</li> <li>○ 予算の配分。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来年度も「障害者スポーツ」を学習材として5年生の「総合的な学習の時間」の年間カリキュラムに位置づけ、継続して実践する予定である。</li> </ul>